

# 最高の微細を追求・実現

会社名 若水技研株式会社  
 所在地 大阪府東大阪市今米2-5-3  
 従業員 15名  
 資本金 1,000万円  
 売上高 4億8,000万円  
 業種 フィルム搬送用ロール・フィルム搬送設備設計製作

**若水技研** 株式会社

## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 「フィルムの搬送技術」と「微細溝ロール」に関する強みを活かし、新たな技術開発(メカロスキャンセル用補助入力装置、摩擦力付加用加圧チャンバー等)を行い、極低張力搬送設備に展開

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 顧客とのNDAや販売代理店の契約書ひな型を作成。不利な取引を改善するための契約スキームを整備できた。
- 部品・装置販売だけでなく、従来無償で提供していたサービスをコンサルティングとしてビジネス化。さらにブランド価値向上にも着手。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 新工場(新設備)を立ち上げ、新装置開発、売上拡大に繋げる。
- 搬送ラインの巻取り状況改善のコンサルティング受注に向けて折衝中。国内外のコンサルティングの受注を拡大していく。
- 権利化すべきもの、する必要のないもの、ノウハウとして保護するもの等の見極めを行い、必要な技術については積極的に出願を進めていく。

## 重点支援を受けた事業や商材

### 極低張力搬送設備



### 極低張力搬送設備の開発に伴う新ビジネスの展開

これまでに蓄積されてきた「フィルムの搬送技術」と「微細溝ロール」に関する自社の強みを活かし、極低張力搬送設備及びマイクロダスト除塵装置を開発。

新工場を立ち上げ、関連する部品の提供、極低張力搬送設備の装置販売、加えて、コンサルティングに取り組むこととなった。



## 重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの整理と見える化	・新規事業である低張力搬送設備を具体化するには、ビジネスモデルを整理し見える化して関係者で共有することが必要である。
知財戦略の策定と実行	・極低張力搬送設備に係る新規技術を保護しNo.1の地位を確保するための知財戦略は重要である。 ・オープン&クローズの方針は定めているが、精査は必要である。 ・他社の権利を侵害し事業が停止しないようクリアランスの確保も重要 ・秘密情報管理体制の構築が今後益々重要になってくる。
契約の整備	・今後の事業の拡大において販売代理店や外注先企業との関係は益々重要になってくる為、関係者との契約の締結は重要な管理項目である。
海外戦略の策定と実行	・当社のターゲットとする事業は海外(韓国・台湾・中国・欧州・米国等)での生産が活発である一方、国内市場は減少していくことが予想され、海外展開は益々重要になってくる。 ・今後進むべき市場のビジネス状況の把握や、すでに顕在化している類似品・模倣品対策、今後の技術流出等を踏まえた対応が必要である。
ブランド戦略の策定と実行	・当社の強みである技術力や提案力を含めたサポート体制もPRし、ブランド価値向上のために知名度・認知度の向上が必要である。 ・ブランド戦略に即した販売活動の実施が必要である。



## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの整理と見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状認識とビジネスモデルの整理</li> <li>売上の伸び、コンサル受注</li> </ul>	中小企業診断士
知財戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>知財戦略を考える場合のポイント整理</li> <li>特許情報分析事業の活用</li> <li>ライセンスビジネスの検討ポイント整理</li> <li>除塵装置・ウェブ搬送装置などの6件の特許登録、新たな権利化の可能性検討</li> </ul>	弁理士
契約の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサル契約書(対ユーザー)、基本取引契約書(対販社)の完成</li> <li>事業の流れ(関係者の役割)の再確認、現実的な対応方法について</li> </ul>	中小企業診断士 弁護士
海外戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許情報分析事業でのリサーチ(技術動向、侵害予防調査)</li> <li>海外展開への動向確認</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士
ブランド戦略の策定と実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランディングの目的整理(確認)</li> <li>ブランドアイデンティティの確立</li> <li>求人ブランディングの検討とミッション・ビジョン・バリューの検討の重要性</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド専門家

## 支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 東条 寮

活用専門家: 中小企業診断士、弁護士、弁理士、ブランド専門家

知財総合支援窓口担当者: 大阪府知財総合支援窓口 大野 健造

PO(プログラムオフィサー): 田中 和男